

科目名		英文法Ⅱ（English GrammarⅡ）								
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第2学年	機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科 経営情報学科	履修	2 単位	-	講義	通年	60 時間			
担 当 教 員		【常勤】 准教授 南 優次・准教授 池田 晶								
学 習 到 達 目 標										
科目の到達目標レベル		基本的な英語の文法力と語彙力を養い、英語運用能力を高めることを目的とする。 (1) 基本的な文法項目や文構造を理解できる。 (2) 基本的な単語・熟語を発音し、書くことができる。 (3) 既習の語彙と文法を用いて、50～60語程度のまとまりのある英文を作ることができる。								
到達目標 (評価項目)		優れた到達レベルの 目安		良好な到達レベルの 目安		最低限の到達レベルの 目安		未到達レベルの 目安		
到達目標 ①		能動態・受動態の基本的な区別、不定詞・動名詞・分詞の違い、基本的な比較級、関係詞、仮定法が、理解できる。		能動態・受動態の基本的な区別、不定詞・動名詞・分詞の違い、基本的な比較級、関係詞、仮定法が、3／4程度理解できる。		能動態・受動態の基本的な区別、不定詞・動名詞・分詞の違い、基本的な比較級、関係詞、仮定法が、3／5程度理解できる。		能動態・受動態の基本的な区別、不定詞・動名詞・分詞の違い、基本的な比較級、関係詞、仮定法が、理解できない。		
到達目標 ②		基本的な単語1500、熟語300が理解出来る。		基本的な単語1500、熟語300が3／4程度理解出来る。		基本的な単語1500、熟語300が3／5程度理解出来る。		基本的な単語1500、熟語300が理解出来ない。		
到達目標 ③		基本的な文法、単語1500、熟語300を使って、40～60語程度のまとまりのある英文を作ることが出来る。		基本的な文法、単語1500、熟語300を使って、30語程度のまとまりのある英文を作ることが出来る。		基本的な文法、単語1500、熟語300を使って、20語程度のまとまりのある英文を作ることが出来る。		基本的な文法、単語1500、熟語300を使って、10語程度のまとまりのある英文を作ることが出来ない。		
学習・教育到達目標		(G)②		JABEE基準1 (2)		-				
達 成 度 評 価 (%)										
評価方法 指標と評価割合		中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合		30	30	20		20				100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】		◎	◎	○		○				
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】		○	○							
汎用的技能 【 】										
態度・志向性(人間力) 【 】										
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】										

関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	英文法 I
教科書	①「総合英語フォレスト 7th edition: Benchmark English Grammar in 25 Lessons」、②「同 Benchmark English Grammar More Drills」、③「総合英語フォレスト:Forest 7th edition」(石黒昭博 監修),
補助教材等	④「データベース3000 4th edition」(桐原書店)、⑤「データベース3000 4th edition ワークブック (A, B, C3冊)」(以上桐原書店)
学 習 上 の 留 意 点	
【授業態度について】 「教材を持ってこない」、「私語をする」、「携帯電話を使用する」、「居眠りをする」、「飲食する」、「出席したとしても全く授業に参加しない」、といった態度や、配布したプリント類を紛失した場合は、自分だけではなく、周りの学生に悪影響を及ぼすので、大幅な減点対象とします。本の辞書でも電子辞書でも構いませんので、辞書は必ず持参してください。 【勉強の仕方について】 毎日の積み重ねが大切です。予習と復習にはじっくりと取り組んでください。予習の段階で英文に目を通して分らない単語や難しそうな英文に見当をつけておいて授業で確認する、という方法を身につけると効率が良いと思います。外国語の学習は自分から学ぶ、という姿勢を身につけることが大切ですので、分からないことがあったら、授業中でも授業以外でも、気軽に質問してください。	
担 当 教 員 か ら の メ ャ セ ー ジ	
長い英文であっても、注意深く読んでみれば、中学の時に習ったものが組み合わされて長くなっているということに気づくと思います。キチンと読めるようになるには、授業に積極的に参加して予習・復習の習慣を身に付けてください。難しいことや新しいことに直面すること多いと思いますが、外国語として英語に取り組んでいる教員の私も、そのあたりは学生の皆さんと同じです。英語は、学生と教員が、それぞれの立場で新しいことに出会って取り組んで、一緒に成長することが出来るという魅力的な科目だと思います。皆さんからの質問は、私自身が教員として、皆さんにどのように答えたらよいのかということを考える良いきっかけになりますので大歓迎です。一緒に学んでいきましょう！最後に、グローバル化ということで英語の大切さが叫ばれていますが、英語だけを大切にすることはなくて、英語以外にも世界には数え切れないほどの言葉があって、それぞれとても魅力的でかけがえのないものである、ということも忘れないでください。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 初めに	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。	
2	第 8 章 態 (1)	・受動態が使われる場合 ・受動態の基本 ・助動詞を含む受動態 を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 30-31の予習・復習
3	第 9 章 態 (2)	・進行形の受動態 ・完了形の受動態 ・SVOOの受動態 ・SVOCの受動態を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 32-33の予習・復習
4	Plus 態	・疑問詞を使った疑問文の受動態 ・群動詞の受動態 ・say, believeなどの受態を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 34-35の予習・復習
5	第 1 0 章 不定詞 (1)	・不定詞 ・名詞的用法 ・形容詞的用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 36-37の予習・復習
6	第 1 1 章 不定詞 (2)	・副詞的用法 ・SVO+to 不定詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 38-39の予習・復習
7	第 1 2 章 不定詞 (3)	・不定詞の意味上の主語 ・否定語の位置 ・使役動詞/知覚動詞+O+動詞の原形を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 40-41の予習・復習
8	中間試験		
9	Plus 不定詞 ①	・seem + to不定詞と完了形の不定詞 ・進行形の不定詞 ・受動態の不定詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 42-43の予習・復習
10	Plus 不定詞 ②	・自動詞+to不定詞 ・不定詞の注意すべき用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 44-45の予習・復習
11	第 1 3 章 動名詞	・動名詞 ・動名詞の働き ・動名詞の意味上の主語 ・否定語の位置を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 46-47の予習・復習
12	Plus 動名詞 ①	・受動態の動名詞 ・完了形の動名詞 ・動名詞を使った重要表現を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 48-49の予習・復習
13	Plus 動名詞 ②	・動詞に応じて動名詞が表す「時」が変わる ・目的語に動名詞をとる動詞 ・目的語が動名詞と不定詞で意味の異なる動詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 50-51の予習・復習
14	演習	・既習の文法項目と語彙用いた英語演習	別途配布プリント
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 前期のまとめ	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	テストのやり直しレポート作成

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	第14章 分詞 (1)	・現在分詞と過去分詞 ・名詞を修飾する分詞 ・ 分詞構文の否定語の位置を理解し、それらを使って 簡単な文を作ることができる	教科書pp. 52-53の予 習・復習
17	第15章 分詞 (2)	・SVO＋分詞 ・使役動詞＋O＋分詞 ・知覚動 詞＋O＋分詞を理解し、それらを使って簡単な文を 作ることができる	教科書pp. 54-55の予 習・復習
18	第16章 分詞 (3)	・分詞構文の形と働き ・分詞構文の意味 ・分詞 構文の否定語の位置を理解し、理解し、それらを 使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 56-57の予 習・復習
19	Plus 分詞	・完了形の分詞構文 ・分詞の意味上の主語を明示 する場合(独立分詞構文) ・慣用的な分詞構文を 理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 58-59の予 習・復習
20	第17章 比較 (1)	・原級・比較級・最上級 ・原級を使った比較 ・ 比較級を使った比較を理解し、それらを使って簡単 な文を作ることができる	教科書pp. 60-61の予 習・復習
21	第18章 比較 (2)	・最上級 ・最上級を使った比較 ・原級・比較級 を使って最上級の意味を表すことを理解し、それら を使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 62-63の予 習・復習
22	Plus 比較	・原級・比較級を用いたさまざまな表現を理解し、 それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 64-65の予 習・復習
23	演習	・既習の文法項目と語彙用いた英語演習	別途配布プリント
24	中間試験		
25	第19章 関係詞 (1)	・主格と目的格 ・所有格を理解し、それらを使っ て簡単な文を作ることができる	教科書pp. 66-67の予 習・復習
26	第20章 関係詞 (2)	・前置詞と関係代名詞 ・what ・限定用法と継続用 法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることが できる	教科書pp. 68-69の予 習・復習
27	第21章 Plus 複合関係詞 (3)	・関係詞where/when/why/how ・関係副詞の継続用 法 ・複合関係詞を理解し、それらを使って簡単な 文を作ることができる	教科書pp. 70-71の予 習・復習
28	第22章 仮定法 (1)	・直接法と仮定法 ・仮定法過去 ・仮定法過去完 了を理解し、それらを使って簡単な文を作ることが できる	教科書pp. 72-73の予 習・復習
29	第22章 Plus 仮定法 (2)	・wishの後の仮定法 ・as ifの後の仮定法 ・未来 のことを表す仮定法 ・ifの省略を理解し、それ らを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 74-75の予 習・復習
	期末試験		
30	試験返却・解答解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、間違った箇所を理解する。 後期の学習事項のまとめを行う。	テストのやり直しレ ポート作成
総 授 業 時 間 数			60 時間